

09/30・世界で株安 時価総額1400兆円減 資源安、企業に打撃 < 1 > < 2 >

世界株価時価総額は5月末77兆ドル弱から12兆ドル(16%)減 VW不正問題も影響

・待機児童5年ぶり増2.3万人(4月時点) 定員拡充も追いつかず

働く女性増 保育需要鮮明に 保育士確保難しく17年度末7万人不足の試算も

・インド今年4回目利下げ0.5% 成長鈍化を回避 原油安恩恵で物価抑制に自信

・ベトナム6.5%成長(1-9月) 5年ぶり高水準 スマホなど輸出好調

サムスン、マイクロソフト(ノキア)などが工場を持つスマホの一大拠点 縫製品も11%増

10/01・日本鉱工業生産8月0.5%低下 中国減速で下振れ 崩れる増産シナリオ

・ユーロ圏、物価0.1%下落 9月、半年ぶり 欧州中銀は動向注視

10/02・TPP、突破口見えず 医薬品・車部品探り合い 協議日程延長論も浮上

自動車の原産地規制:加盟国からの部品の調達が少ない日本、多いメキシコ

乳製品: NZが輸入枠拡大を要求 日米、カナダが難色

新薬のデータ保護期間:アメリカは12年 豪、NZ、チリ、ペルーなど5年

10/03・TPP大筋合意へ延長戦(閣僚会合:アトランタ) 医薬品、最後の壁に

新薬データ保護期間、日本が8年で調整役

・物価見通し下方修正へ 日銀、2%達成先送り検討 経済成長率見通しも< 3 >

・米雇用、14万人増に鈍化(9月) 利上げ慎重論拡大も

雇用回復の目安とされる20万人に2カ月連続で届かず

・東南アジア新車販売28カ月ぶり増(8月) 先行きには不透明感

域内1位のインドネシアは6%減、2位のタイは10%減 マレーシアが伸びる

10/04・TPP合意へ攻防 医薬品調整続く 交渉さらに1日延長へ

2日間日程から予備日を使って4日目にさらに延長へ

10/05・日本実質賃金8月0.2%増も6-8月では1.0%減 消費引き上げ不透明

10/06・TPP大筋合意 12カ国31分野で協定 関税撤廃・知財まで網羅 < 4 >

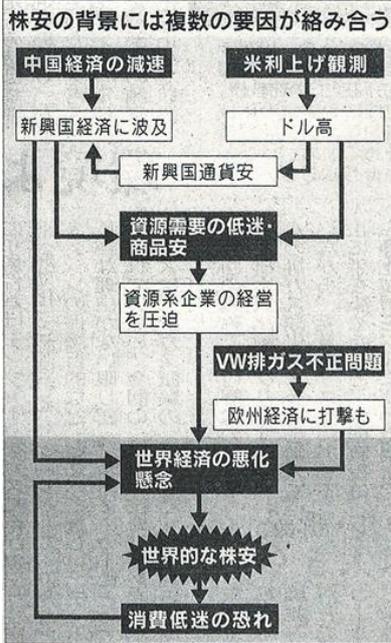
人口約8億人、世界のGDPの4割近くを占める最大の自由貿易圏 < 5 >

日本では肉やワイン、輸入品安く コメ・畜産は競争の風 < 6 >

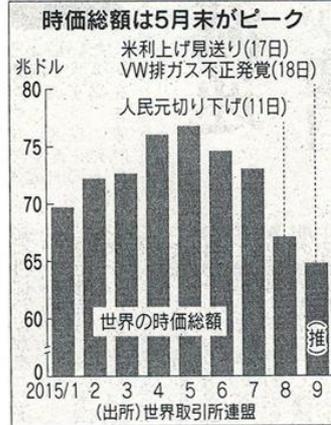
発効、なおハードル 議会対策・選挙、各国に課題 < 7 >

⇒今週のポイント解説

<1>



<2>



<3>

日銀の物価・景気見通し

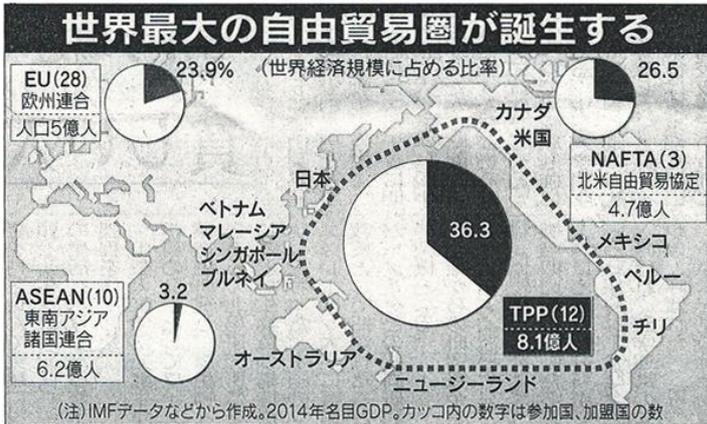
	7月時点	10月検討
物 価 上 昇 率	15年度 0.7%	0%台前半
	16年度 1.9%	小幅下方修正
実 質 成 長 率	15年度 1.7%	1%前後
	16年度 1.5%	小幅下方修正

<4>

TPPの主な合意内容

な コ メ	<ul style="list-style-type: none"> 日本に米豪からの新たなコメ輸入枠(計7.84万トン) 日本産牛肉は米国向けに新たな輸出枠
乳 製 品	ニュージーランドなどからの輸入拡大 →バター不足解消に一役
自 動 車	部品55%以上を域内で調達すれば関税ゼロに →日本車輸出に追い風
医 薬 品	バイオ医薬品のデータ保護8年に →後発薬開発・流通とバランス
著 作 権	保護期間50年を70年に長く →収益を長く確保

<5>



<6>

食卓こう変わる

- 牛肉・豚肉** 米国やNZからの輸入品がより身近に
牛肉は1年目に関税を38.5%→27.5%に、高級豚肉は4.3%→2.2%に
- コメ** 米国や豪州産が身近に
輸入の一定量まで関税ゼロに
- 魚** カツオやベニザケなど安く
関税3.5~6%を即時撤廃
- ワイン** チリや豪州産が手に入りやすく
1リットルあたり125円を7年で撤廃
- チーズ** ブルーチーズなど安く
11年目までに29.8%の関税を半分に

<7>

